

地域連携便り



北海道美唄養護学校

第3号

令和3年11月19日発行

まだまだ新型コロナウイルス感染の威力が収まらない中、防止対策を取りながら各学部の行事の取組や進路の学習を進めております。本号では、各学部の進路指導・学習の進み具合や取組等の情報を中心にお知らせいたします。また空知管内の特別支援教育に関する連携についても合わせてお知らせいたします。

コロナ禍にありましても、着実に進路や地域連携への取組が進んでいることへの、今後とも変わらぬご協力を宜しくお願いいたします。

高等部の現場実習について

今年度は、昨年度同様に新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、2・3年生は6月末から実施いたしました。1年生の現場実習も、一昨年度までは7月上旬からの実施でしたが、これまでの反省を生かし、生徒の実態を理解し本人に合った仕事内容で現場実習を行えるよう8月末から実施いたしました。

3年生は、6月末より10日間、卒業後の生活を想定した実習を行いました。ほとんどの生徒は、過去の実習などで体験したことのある事業所であったため、安心して取り組むことができました。また、昨年度から緊急事態宣言などにより、実習が延期していた生徒に関しては、3年次に初めての事業所での実習をした生徒は、緊張しながらも、卒業後をイメージしながら頑張って実習を終えることができました。卒後利用することを前提にした現場実習は、生徒・事業所共に、互いをよく知り、お互いに見通しを得るためには大事な実習となります。3年生は今回の実習の結果をご家庭でも話し合い、卒業後の生活を検討して欲しいと思います。

2年生は、初めての個別実習を5日間実施しました。昨年度とは違い、卒業後の進路選択をする上で、とても大事な実習になります。社会で働くこととは何か、自立して生きていくためにどんな力が必要なのかなど、色々な疑問や課題を今回の実習で経験したことと思います。10月の懇談等で、実習の結果を受けて、今後、学校や家庭でどのように取り組んでいくか、一緒に相談したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

1年生は、教員が引率して3日間現場実習を実施しました。働くこととは何か、どんな仕事があるのか、など色々なことを経験しました。初めての实習はとても緊張したことと思いますが、みんな、返事や挨拶もよくでき、一生懸命仕事に取り組んでいました。この経験を生かし、これからの学校生活や2年次の現場実習に繋げて欲しいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様には実習にかかわる諸準備や家庭での支援など様々な面でご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。何かご質問がありましたら、担任もしくは進路担当までご相談下さい。



(進路担当 宮島史吉)

中学部進路情報



高等部進学に向けた3年生の教育相談が本格化してきました。教育相談では学校や寄宿舍についての説明を受けたり、生徒や保護者面談を行い、お子さんの学校生活の状況、家庭生活の状況、健康状態や受検の見込み、考え方などについて話し合ったりします。1校もしくは複数校の教育相談を受けた上で、10～11月ぐらいには出願先を決めていきます。

今年は新型コロナの影響もあり、3年生の教育相談が優先的に行われていますが、1、2年生についても学校見学が可能ですので、ご検討いただければと思います。（ただし、見学時期が限定されている場合があります。）

教育相談では、保護者の方に「教育相談記録票」という紙を作成していただきその資料を基に面談を行います。いざ作成しようとするとなかなか難しい・・・というお話も聞かれます。3年生になる前に、どんなことを記入するのかを知っておくと安心です。「教育相談記録票」は、各学校HPの教育相談のページにデータが入っています。是非一度のぞいてみてください！

卒後支援について



本校の卒後支援は、期間として高等部卒業して3年間を目処で実施しています。その後、何か状況が変化したときに対応しています。年に1回夏休み時期に卒業担任と進路担当と一緒に進路先の事業所に行き、本人の様子や職員の方に状況を確認しています。今年度は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため卒後支援が例年のようにできない状況のため、進路担当のみで卒後支援を行いました。まだ訪問できていない事業所もありますので、新型コロナウィルスの感染状況をみながら訪問する予定です。

令和2年度卒業生の一部の生徒の様子をお知らせします。新十津川町にある、就労継続支援B型のフレーザーカントリーに行った卒業生は、弁当作りや肉の加工など食品製造の仕事をしています。自ら仕事を見つけ、周りに気配りをしながら仕事をしており、職員からも高い評価をいただいていた。夕張市にある、施設入所支援・生活介護のニュー北海道博愛舎に行った卒業生は、環境の変化、施設のルールなどに慣れ落ち着いて過ごしていました。生活介護ですが、タオルたたみの仕事に取り組み工賃をもらっているとのことでした。

卒業を見据えて在学中に目標としたいことは、生活リズムが安定して毎日時間どおりに出勤できるということです。事業所では、学校とは違い、職員が少ないので、職員が近くにいなくても決められた仕事や日課を取り組めることが大切です。また、自分から挨拶や困ったときに自分から伝えられるコミュニケーション能力も大切です。

高等部卒業までに、学校と家庭と協力していきながら、児童生徒が社会人としていろいろな変化にも対応して安心して暮らしていける力を身に付けていけるよう取り組んでいきたいと思います。

小学部進路情報

『小学部5、6年生保護者進路懇談会』実施について

中学部進学に向けて、進路にともなう情報を聞いていただく機会を計画しています。

「進路」と聞くと、まだまだ先というイメージをもたれるかと思いますが、お子さんのお迎えのついでに少し聞いていただくくらいの気持ちで、お気軽に参加していただければと考えているものです。

日時：令和3年12月23日（木）11：00～11：20

場所：小学部高学年ブロック ワークスペース

講師：中学部主事 宮本 昭彦

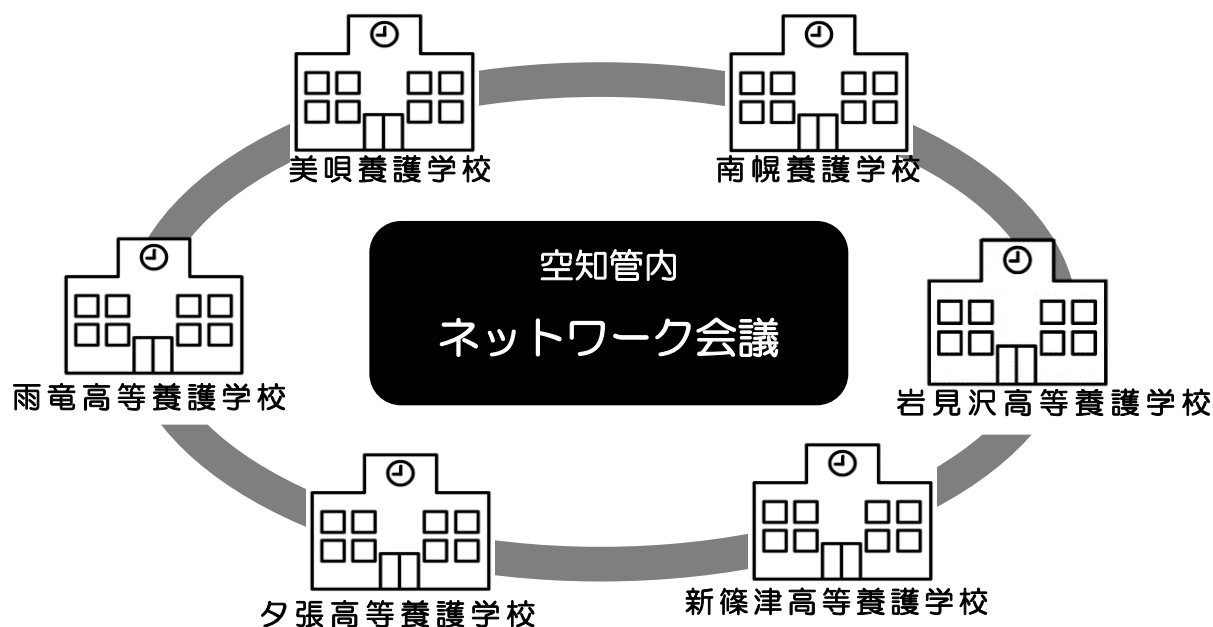
内容：美唄養護学校中学部の学習について



コーディネーターから

空知管内の特別支援学校との連携について

空知管内の特別支援学校5校と、石狩管内の新篠津高等養護学校を含めた6校で『空知管内地域支援ネットワーク会議』を設けています。この会議では、乳幼児期から学校卒業まで相談・支援の充実を図るために、各校の情報を共有するとともに、管内の特別支援学校、こども園、小・中学校、高等学校及び関係機関などに対して特別支援教育に向けた研修の場を設ける等の活動を行っています。



6月に開催した第1回ネットワーク会議は、コロナウイルスの感染予防対策で、紙面のみの開催でした。各校の教育相談や支援会議等の現状や抱えている課題点等について交流しています。

今年度も今後の情勢を確認しながら、研修会の発信や特別支援学校がより充実した地域のセンター的機能の役割を担うために、地域との連携を深めていきたいと思っています。